

あきた労福協

2018年5月1日 No.122

発行所／秋田県労働福祉協議会
 発行責任者 高橋暢嘉
 秋田市中通6丁目7-36労館内
 TEL:018-833-1875・FAX:833-0506
 ホームページ、<http://akita@rofuku.net>

「労働者自主福祉運動」に取り組もう！ ～産別訪問～

労働運動や労働者自主福祉運動の原点を見つめ直し、労働者自主福祉事業の利用促進、共助拡大につなげることを目的として、ろうきん・全労済・労福協の3者で4月3日から産別訪問を実施。各労福事業の運動推進に向けた方針を大会議案書等へ掲載頂くなど引き続きの取り組み協力と組合員への展開を要請した。



▲労組や会員組織を訪問



▲産別への要請文書

フードバンクとは？

労福協「フードバンク」の活動を視察

3月5日「フードバンクあきた」と「秋田たすけあいネットあゆむ」を訪問し、フードバンクの現状をヒアリング、視察をした。

日本では、まだ食べることができるので廃棄されてしまう食品が多くあるといわれている。一方で食べるものが無くて困っている方が多数いることも事実である。このような現状の中で行う「フードバンク」とは、まだ安全に食べることのできる食料を個人や企業から寄贈を受け、生活困窮者や支援を必要としている方に提供し、自立への支援をはかる活動である。また朝食をとることができずに登校したり、季節に合わない服装をして登校する子供の存在に気づき、子供食堂、制服のリユース、子供たちのための無償の学習室事業などの開催も行っている。



マツクスバ
リュ
東北茨島店

捨ててしまうのが「もったいない」と思う食品を「フードバンク」に寄付していただくことで「ありがとう」という言葉につながる。(フードバンクあきた・林代表の言葉)

「第89回秋田県メーデー」開催

4月28日・5月1日に県内10ヶ所（大館地協2か所）で開かれた。
 第89回メーデーのスローガンは、



▲参加者全員で団結ガンバロー三唱

「平和・人権を守り、あらゆる差別をなくそう！働く者のための働き方改革をすすめ、すべての仲間と結集しよう！」である。

今年の秋田県中央メーデーは、4月28日（土）にぎわい広場・エリアなかいちで開催され、好天にも恵まれたこともあり約1,800人が参加した。パレードは、2つのコースに分かれて実施され、街頭を歩く市民や商店街の皆様へ「メーデーの意義」とスローガンの趣旨について訴えた。



ライフサポートセンターあきた 相談事例 Q&A 「友人との金銭トラブル」

Q

6年ほど前に知人に50万円を貸したが、初めのころは一回5千円を数回返済ただけで、その後は催促しても全く返してくれない。

“貴方は年金があるから返さなくても暮らせる”とか“旦那が仕事しているのでお金あるだろう”とか言って全く相手にしてくれない。お金を貸す時に借用書は取り交わしている。何とか返して貰う手段はないのでしょうか。

**A**

正式に弁護士等に依頼して裁判所に提訴する方法もあると思うが、弁護士費用がかかるのと、それに費やす時間と体力も必要となり、貸した金額全部を取り戻すことは困難と推測される。大変だが返済の催促を継続していくしかないのでしょうか。



金銭の貸し借りは民法上5年～10年程度時効までの時間があり、催促して相手が返済意志を示せば、そこから時効期間が再び延びることになる。貸した時は人助けのつもりでも結局は、貸した人の責任となる―――。

ZENROSAI NEWS
[0517W030]

全労済 公式キャラクター ピット君

たすけあいの心からうまれた 多彩な共済で安心の未来を。

資料請求・お見積のご依頼は
共済ショップ秋田店 **Tel 018-824-6031**

共済 ショップ	受付 (月曜～金曜日) 9:00～17:00
	(土曜日) 10:00～16:00

全労済は、収益を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心と明るい暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただけます。各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済
全国労働者生活協同組合連合会

全労済秋田推進本部(秋田県労働者生活協同組合)

編集後記

5月といえば、ちょうど田植えなど、苗植えの時期。昔は、この苗植えをする月のことを「早苗月(サナエヅキ)」と言っていた。後に、このサナエヅキという言葉が、短く略されて「皐月(ツツキ)」と言われるようになったそうである。秋田県の人口は1年前と比較し14,615人が減少した。県は転出超過による社会減を半減させる目標を掲げた。秋田には、米をはじめとして魅力ある食材が数多くある。秋田の魅力をPRし、人口減に歯止めかけてもらいたいものだ。(J.I.)